



©G.KASAI@SHOGENJI

実践マニュアル

子どもの成長儀礼

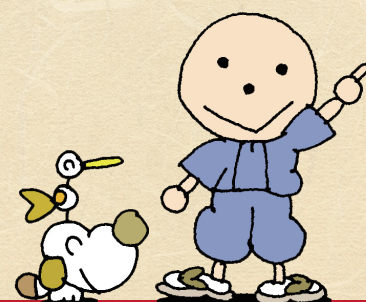
やってみよう!

ダウンロード



してすぐに使える!

浄土宗総合研究所 編



目次

- ・今こそお寺で「子どもの成長儀礼」を! 2
- ・明るく・正しく・仲よく!

七五三

3

- ・七五三の由来
- ・七五三の現状
- ・浄土宗における七五三の意味
- ・次第
- ・事前準備
- ・初参り

智慧結び法要

8

- ・智慧結び法要のすすめ
- ・法然上人のご生涯と智慧結び法要
- ・事前準備
- ・次第
- ・智慧結び法要短縮版

その他の工夫

13

- ・写真撮影
- ・記念品

- ・おわりに「浄土宗の祈願について考える」

15

- ・ダウンロード可能資料一覧

今こそお寺で「子どもの成長儀礼」を！

「寺離れ」が起きているという声が各地から聞こえてきます。この原因の一つには、檀信徒の高齢世代・青壮年世代・子ども世代それぞれが異なる場所に住む状況が増えたことにより、寺院や信仰に関する檀家家庭内での継承が難しくなっていることが挙げられるでしょう。一方、テレビや雑誌の影響で、いわゆる「仏教ブーム」が起こり、一般の方々からの寺院に対する興味関心も高まっている状況も見られます。

このような状況である今こそ、お寺で七五三などの「子どもの成長儀礼」を行ってみませんか？ なぜなら昨今、少子化という状況のなか、子どもが主役の成長儀礼を求める傾向がより強くなっているからです。

お寺で子どもの成長儀礼を勤めれば、その後の人生儀礼（成人式、結婚式、長寿のお祝い、葬式など）にもつながる可能性があります。また、子どもの成長儀礼をお寺で行うことは、祖父母・親・子どもの三世代、さらには両家族にわたって寺院に来る機会となり、次世代に信仰を継承する一つの契機になることでしょう。

今回、成長儀礼として「七五三」、および浄土宗総合研究所が新たに提案する、法然上人のご生涯に因んだ学業成就の法要「智慧結び法要」を取り挙げ、これらの具体的実践方法を紹介します。

この「子どもの成長儀礼実践マニュアル」は、子どもの成長儀礼を実践するのに役に立つ様々な素材をまとめたものです。浄土宗総合研究所のホームページからダウンロードして使用できる資料、および法要のイメージ動画、解説動画、水瓶や洒水器の紙飾り作成解説動画も用意してあります（ダウンロード可能資料には、が付いています）。

なお本マニュアルは、ご住職一人でもできる次第構成を念頭に置いて作成しています。是非、本マニュアルを活用し、実践してみてください。

明るく・正しく・仲よく！

本マニュアルでは成長儀礼を通して浄土宗への入信を促し、帰敬式へとつなげていく機会の一つと捉え、成長儀礼の真の目的は仏・法・僧の三宝帰依へとつなげていくことにあると考えています。浄土宗では、年少者向けに三宝帰依の精神を「明るく」「正しく」「仲よく」という三つのスローガンに置き換えて表現してきました。ただし幼児を含む年少者にこの三つのスローガンを伝えていくためには、より具体的な表現が必要でしょう。

ご承知のように「仏」とは覚った者、私たちを覚りの境地へと導いて下さる方、「法」とは覚った人の教え、覚りの境地へと導いて下さる方の言葉、あるいは真理、「僧」とは覚りの境地を求めて集う人々と和合の団体を指します。本マニュアルでは「明るく」を「仏に感謝できる心」、「正しく」を教えに照らして「我が身を振り返る心」、「仲よく」を「仲間を思いやり敬う心」とし、「七五三」においては、

「明るく」⇨「ありがとう」と笑顔で言える人にならましよう

「正しく」⇨「ごめんない」と正直に言える人にならましよう

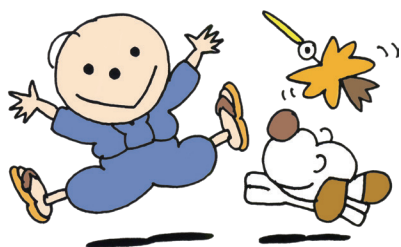
「仲よく」⇨誰にでも優しくできる人にならましよう

と具体的に表現しました。「智慧結び法要」においては、

感謝の気持ちを忘れずに毎日を笑顔で「明るく」過ごし、
我が身を振り返りながら大人となる道を「正しく」歩み、
思いやりと敬いの心をもって「仲よく」生きることを誓う

という表現にしました。仏・法・僧を宝と受け止める心を具体的にどう表現するか、

三宝への帰依を促す際の重要な課題と言えます。



七五三



七五三の由来

七五三とは、一般的には十一月十五日に、三歳・五歳・七歳の子どもに行う成長を祝う儀礼です。その由来は、三歳は髪置^{かみおき}、五歳は袴着^{はかまぎ}、七歳は帯解^{おびと}とされ、髪型や服装を変えることによって、子どもの成長を祝うものです。

現在、一般的には、女兒は三、七歳、男児は五歳に行うものとされていますが、このように全国的に定型化されたのは明治期以降といわれています。それ以前は三歳に男児、五歳に女児を祝う、あるいは七歳には男女ともに祝うという地域もあり、地域や社会階層によって様々でした。また、日にちも十一月十五日とは限りませんでした。

七五三の現状

現在でも大変な賑わいを見せる七五三ですが、近年では次のような変化が見られます。お寺で実施するうえでも、留意すべき大切なポイントでしょう。

◆ 日程の拡散化

十一月十五日当日に行うよりも、近辺の土日に行う傾向が強くなっています。これは父親も含めた家族や両家の両親が参加する傾向に伴うものです。さらに着物レンタルの関係で、十月下旬の週末から七五三を実施する状況が見られます。

◆ 着物の着用率上昇

九〇年代中頃より、レンタル着物付写真館が全国展開を開始しました。この影響により、七五三での着物着用率が上昇したとされています。

◆ 写真撮影が必須に

先述したレンタル着物付写真館の展開に伴い、写真撮影が必須なものとなりました。参拝とは別日程で前撮りを行う場合もあり、複数回着替えて撮影することも増えているようです。

◆ 氏神社ではなく、近隣の有名神社に参拝する傾向

本来は氏神に対して祈りを捧げる機会でしたが、氏神や氏子という觀念が希薄化するに伴い、有名神社に集中する傾向が強まりました。これは記念写真を撮ることに重きを置く傾向とも関係しているようです。

◆ 大切な「家族の記念日」に

七五三はこれまでの伝統を引き継ぎながらも、写真撮影や食事会といった新たな要素が加わり、「家族の記念日」というイベントとしての様相が強くなっています。

浄土宗における七五三の意味

浄土宗寺院で七五三を行う意味は何でしょうか。それは、阿弥陀如来への結縁^{けつえん}を通して帰依に導く大切な機会であるとともに、阿弥陀如来およびご先祖様に対して、日々の平安を感謝し、今後の無事成長を願うことです。ですから、御本尊前にはご先祖様のお位牌をお祀り^{まつり}するとともに、法要の後にはお墓参りをして、ご先祖様へ報告するのがよいでしょう。

【実践にあたっての留意点】

- ◎ 現在七五三は、大切な「家族の記念日」という意味合いが強くなっています。こうしたニーズに応えるための工夫も必要です。
- ◎ 日程に関しては、必ずしも十一月十五日にこだわる必要もないでしょう。
- ◎ 近年、性的マイノリティーへの配慮の機運が高まっています。七五三は、三歳、七歳が女児、五歳が男児のための行事である一般的な考えられているため、「男の子らしく」「女の子らしく」という性に対する固定觀念を助長する一面は否定できません。この点、寺院側でも配慮が必要でしょう。先述したように、現在のような七五三という行事が固定化されたのは明治期以降であることを考えると、三歳・五歳・七歳それぞれの機会を男女で限る必要はないでしょう。



次第

先、無言三礼
次、奉請（散華）
次、表白
次、転座
次、説示
次、灌頂洒水
次、三宝帰依
次、同唱十念
次、転座
次、開経偈
次、誦経（焼香）
次、祈願

無言三礼

奉請（散華）

表白（時間の都合で省略しても可）

謹み敬って大悲願王阿弥陀如来、別しては○○・△
△両家先祖代々尊霊位の宝前に白して言さく。願わく
は六神通力をもつて照知し給え。

今現前の○○さん、七（五、三）歳に成長し七五
三の佳き日を迎えるにあたり、道場を莊嚴し仏前に
ぬかずく。伏して請い願わくは、阿弥陀如来、別し
ては両家先祖代々霊位の衷情を納受し給い、○○さん
の才徳益々高く息災にして無事成長、哀愍護念し給
わんことを。

維時 ○年○月○日 ○誓○○敬って白す

転座

説示

○○さん、ご家族の皆様、本日は○歳のお祝い、
おめでとうございます。日本では伝統的に子供の成
長の段階にあわせて髪型を変えたり着物を変えたり
して、子どもの成長を祝ってきました。これが七五
三という行事の由来といわれておりますが、今日は
お寺での七五三です。お子様の成長の大切な節目に
あたり、あらためて本尊阿弥陀様にお子様を見守っ
ていただけますようお願いをする、大切な機会とな
ります。

同唱十念

それでは、只今より無事健やかな成長を願う十遍の
南無阿弥陀仏をお称えいただき、阿弥陀様にご祈願を
したいと思います。

本尊阿弥陀如来御威光倍增哀愍護念 同唱十念

転座

開経偈

誦経（焼香）般若心経など

祈願

本尊阿弥陀如来、○○・△△両家先祖代々哀愍護念
祈願し奉る信心の願主は○○（夫の名前）、○○（妻の名
前）、祈願し奉るところは○○（子どもの名前）、身体
健全無事成長無諸障礙哀愍護念

普済偈

同唱十念

摂益文

念仏一会

請護念偈

十念

無言一礼

挨拶



次、普濟偈

次、同唱十念

次、撰益文

次、念仏一会

次、請護念偈

次、十念

次、無言一礼

次、挨拶



灌頂洒水

(＊水瓶での作法です。洒水器でも構いません)

それではまず聖水灌頂を行います。阿弥陀様の前で、この智慧のお水をおつむから注いで、阿弥陀様のやさしい思いやりの心を授かります。それでは前のほうにお願いします。合掌して、おつむを下げてください。

これはこれ聖なる智慧の水なり。今○○さんの頭上に灌^{そそ}がん。願わくは身体健全にして無事成長せられんことを。

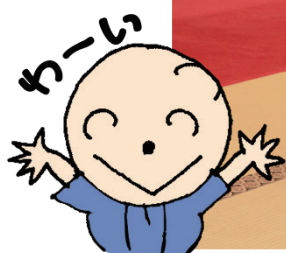
弥陀心水沐身頂 南無阿弥陀仏 (灌頂洒水)

三宝帰依

それでは、○○さん、これから阿弥陀様に見守っていただけますよう、「明るく、正しく、仲よく」という三つのお約束をしていただきます。「明るく」というのは、「ありがとう」と笑顔で言えることです。「正しく」とは、「ごめんなさい」と素直に言えることです。「仲よく」とは、誰にでも優しくできるといことです。それではいまからお尋ねしますから、ハイと答えてください。

○○さん、これから明るく、正しく、仲よくできますか。(はい)

ただいま三つのお約束をして頂きましたので、その証として() () ()をお授けします。では席にお戻りください。



事前準備

1 事前広報

お檀家さんなどに対して、事前に広報をすることが大切です。お配りできるパンフレットの例、事前にお見せしておきたいイメージ動画、解説動画を紹介します。

パンフレット例



(ダウンロードして使用できます。寺院名などは各々入れてください)



例①



例②

「お寺での七五三」動画



お寺で七五三 イメージ編



お寺で七五三 解説編

2 準備物

ここでは、七五三にあたっての

- ①事前広報 ②準備物 ③堂内のしつらえについて紹介します。

◎千歳飴袋

写真撮影のために用意することをお勧めします。インターネットなどで購入することが可能です。三歳児の写真撮影の場合には、サイズの小さい千歳飴袋を用意したほうが良いでしょう。



◎記念品

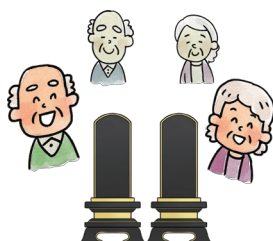
お守りやお札を用意すると良いでしょう。

*この他お薦めの記念品については、14頁をご参照ください。

3 堂内のしつらえ

◎朱のろうそくを使用するとお祝いの雰囲気が出るでしょう。

◎本尊前にご先祖様のお位牌をお祀りしましょう。お位牌は、父方母方両家のお位牌を祀るのも良いでしょう。



◎灌頂洒水に用いる水瓶、洒水器には紙飾りを付けると華やかになります。

◎水瓶、洒水器それぞれの紙飾り制作動画を用意しましたので、是非ご参照ください。



慶事の飾りの作り方 水瓶と散杖編



慶事の飾りの作り方 洒水器編

初参り

阿弥陀様への披露と 加護の願い

初参りとは、名付け祝い（生後七日目）に次いで行われる儀礼です。名付け祝いは家庭で行う儀礼

です。家庭の外で初めて行う儀礼が初参りということになります。元来、生後約一ヶ月を迎え産忌が明ける時期にあたり氏神社に参り、氏子に加えてもらうという意味がありました。

この大切な節目である初参りも、近年では様々な変化が生じています。生後一ヶ月ではまだ首も据わっていないということもあり、時期を遅らせ「お食い初め」（百日）と一緒にすることも増えてきました。この際には食事会、写真撮影とセットで行うことが多いようです。また氏神社ではなく、近隣の有名神社に行く傾向も強くなっています。

人生の始まりに当たっての、大切な儀式である初参りを菩提寺で行うことには、新たな家族を阿弥陀様へ披露し加護を願うという重要な意味があります。また親の立場としても、我が子を初参りに参加させることにより、あらためて親やご先祖様からの命を引き継ぎ「生かされている自分」に気づく報恩の機会ともなるでしょう。



次第



- 先、奉請（散華）
- 次、表白
- 次、転座
- 次、説示
- 次、灌頂洒水
- 次、同唱十念
- 次、転座
- 次、開経偈
- 次、誦経（焼香）
- 次、撰益文
- 次、念仏一会
- 次、祈願
- 次、普済偈
- 次、十念
- 次、挨拶

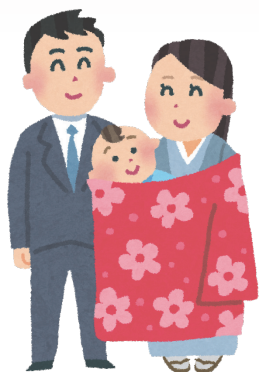


説示

〇〇さん、ご家族の皆様、初参りのお祝い、おめでとうございます。今日の初参りは、新しい家族である〇〇さんが、本尊阿弥陀様に、智慧と慈悲の心をもってお見守りくださいますよう、またご家族様、〇〇さんに連なるご先祖様に、お子様を見守っていただけますようお願いをする大切な機会です。

祈願

本尊阿弥陀如来、〇〇・△△両家先祖代々哀愍護念
祈願し奉る信心の願主は〇〇（夫の名前）、〇〇（妻の名前）、祈願し奉るところは〇〇（子どもの名前）、身体健全無事成長無諸障礙哀愍護念



智慧結び法要

勢至菩薩様
法然上人の
御生涯に因んだ

学業成就法要

智慧結び法要のすすめ

智慧結び法要とは、浄土宗総合研究所が提案する新たな法要で、幼い頃「勢至丸」と呼ばれた法然上人の御生涯と御徳にあやかり、本尊阿弥陀如来および勢至菩薩に学業成就を念じます。

法然上人のご生涯と智慧結び法要

幼い頃「勢至丸」と呼ばれていた法然上人は、十三歳で比叡山に登り（※『法然上人伝絵詞』（琳阿本）等による。『法然上人行状絵図』では十五歳）、十五歳で得度受戒を受け、十八歳頃までには頭角を現し、後に智慧第一の法然房と呼ばれるようになりました。伝記により年齢は異なりますが、これらの年齢は現在の小学校卒業および中学校入学、中学校卒業および高校入学、高校卒業および大学入学という年齢と重なります。

法然上人はその生涯のなかで、智慧の菩薩である勢至菩薩との対面を繰り返し果たしています。このことから、学業の新たなステップに臨む時期にあたって、本尊阿弥陀如来・勢至菩薩にこれまでの感謝を捧げるとともに、学業成就を念ずるものです。

◆智慧結び法要の特徴

◎実施時期

- ①卒業式／入学式までの春彼岸の時期、あるいは受験を控えた時期など
 - ②追善法要と併修（時期を選ばず）
- （※①②両方の法要次第を掲載します）

◎受者参加型法要

本尊阿弥陀如来・勢至菩薩と「結ばれる」感覚受者自らが名号をなぞりお守りに入れ、受者に「誓いの言葉」を述べてもらい、本尊前に「誓いの言葉」を奉獻し焼香するなど、受者参加型の法要です。本尊阿弥陀如来・勢至菩薩と結ばれる感覚を抱いてもらう機会としています。

◆法然上人の御生涯（立教開宗まで）原則として、『新纂浄土宗大辞典』を採用

【西暦】	【年号】	【事項】
一一三三	長承二	四・七 美作国久米南条稲岡荘に誕生。幼名 勢至丸
一一四一	永治一	九歳春 父漆間時国、明石定明の夜襲により傷死。 叔父の菩提寺観覚の室に入る
一一四五	久安一	十三歳（一説には十五歳）比叡山に登り、 西塔北谷の源光の室に入る
一一四七	久安三	十五歳 四月 東塔西谷功德院皇円の室に移る 十一月 比叡山戒壇院で剃髪受戒
一一五〇	久安六	この頃「天台三大部」を読み始め、わずか三年で読破。 その努力と俊才ぶりに皇円も舌を巻く
一一五六	保元一	十八歳 黒谷へ隠遁、観空に師事、法然房源空と号す
一一六一	永暦二	二十四歳 嵯峨清凉寺に参籠、 次いで南都藏後院に広く仏教を学ぶ
一一六四	長寛二	醍醐寺の寛雅に広く仏教を学ぶ 仁和寺の慶雅に広く仏教を学ぶ
一一七五	承安五	浄土宗を開宗 西山広谷に居を移し、のち東山吉水に移る

事前準備

1 事前広報

お檀家さんなどに対して、事前に広報をすることが大切です。お配りできるパンフレットの例、事前にお見せしておきたい紹介動画を掲載します。

パンフレット例 ↓

(ダウンロードして使用できます。寺院名などは各々入れてください)



例①



例②

「智慧結び法要」紹介動画 ↓



2 準備物

ここでは、智慧結び法要にあたっての
①事前広報 ②準備物 ③堂内のしつらえ
について紹介します。

◎ お守り(学業成就)

事前に購入しておきましょう。

◎ お守りに入れる名号札 ↓

式の前に、受者に南無阿弥陀仏をなぞってもらい、裏に誓いや願いごとを書いてもらいます。その後、折ってお守りの中に納めてもらいます。



◎ 受者による

「誓いの言葉」 ↓

A4用紙に
両面印刷し、
三つ折りに
して用いて
ください。



3 当日の堂内のしつらえ

◎ お守りと誓いの言葉

言葉を載せた華籠を、導師が転座した際、受者にスムーズに渡せる場所にあらかじめ置いておきます。

◎ 本尊前に香炉と三方を置いておきます。



◎ 朱のろうそくを用いると、お祝いの雰囲気が出るでしょう。ただし、追善供養と併修の場合には、臨機応変に対応してください。

◎ 本尊前にご先祖様のお位牌をお祀りしましょう。



次第



無言三礼

奉請（散華）

表白

謹み敬つて本尊阿弥陀如来、観音勢至両菩薩、宗祖法然上人、別しては〇〇家先祖代々尊霊位の宝前に白して言さく。

今現前の〇〇さんは本日の智慧結び法要を迎え仏前にぬかずき、これより聖なる智慧の水を授かる。

仰ぎ冀^{こいねが}わくは、弥陀三尊をはじめ、法然上人、別しては〇〇家先祖代々尊霊位の衷情を納受し給い、〇〇さん、身も心も健やかにして学業成就せしめ給わんことを。

維時 〇年〇月〇日 〇誓〇〇敬つて白す

転座

説示

〇〇さん、ご家族の皆さん、〇〇さん〇〇学校卒業△△学校入学を迎えての智慧結び法要、まことにおめでとうございます。

この「智慧結び法要」は、浄土宗をお開きになった法然上人にあやかり、御仏の智慧を授かり、〇〇さんの輝かしい未来に向かって歩むために、明るく、正しく、仲よく生きることを誓う法要です。

幼い頃の法然上人は大変頭の良いお子さんとして知られ、その名も勢至丸と仰いました。智慧の仏さまである勢至菩薩に因んで頂戴したお名前です。十三歳の時、ゆえあつて一大決心をなされ、比叡山に

同唱十念

それでは、学業成就、ならびに身と心の健やかならんことを願つて、皆様とご一緒に十遍の南無阿弥陀仏をお称えいただき、阿弥陀如来様、勢至菩薩様にご祈願をしたいと思ひます。

本尊阿弥陀如来勢至菩薩御威光倍增哀愍護念
同唱十念

誓いの言葉

ただ今、〇〇さんは仏様からの智慧の水を授かりました。それでは、〇〇さん、本尊阿弥陀如来様、勢至菩薩様、また今日お集まりの皆様の前で、誓いの言葉を述べてもらいます。

（導）*受者に「誓いの言葉」を渡す）

では、読み上げてください。

（受）*受者による誓いの言葉）

「本日の智慧結び法要にあたり、本尊阿弥陀如来様、勢至菩薩様から智慧と慈悲を授かりました。今日の気持ち忘れず、法然上人を仰ぎ見て、明るく、正しく、仲よく生活し、学業に励むことを誓います。

〇〇年〇月〇〇日 〇〇

（導）*お守りと、読んだ「誓いの言葉」を載せた華籠を受者が持ち、導師を先導にして内陣本尊前まで進み、本尊前の三方の上に華籠を置く。その後、本

尊前で焼香。受者は元の席に戻る）

転座

開経偈

先、無言三礼
次、奉請（散華）
次、表白
次、転座
次、説示
次、灌頂洒水
次、同唱十念
次、誓いの言葉
次、転座



次、開経偈
次、誦経（焼香）
次、祈願
次、普済偈
次、同唱十念
次、摂益文
次、念仏一会
次、自信偈
次、十念
次、請護念偈
次、無言一礼
次、お守り授与
次、挨拶

登りお坊さまになるため勉強を始めます。そして十五歳で正式なお坊さまとなり、十八歳のころには頭角を現し、後に「智慧第一の法然房」とまで呼ばれるに至りました。そして長い間、仏教の勉強と修行を重ねて浄土宗を開き、今日なお多くの人々を導く教えを残されました。

今日の〇〇学校卒業、△△学校入学を迎えての良き日に当たり、この法然上人のご生涯、ご決心になぞらえ、感謝の気持ちを忘れず毎日を笑顔で「明るく」過ごし、我が身を振り返りながら成長するための道を「正しく」歩み、思いやりと敬いの心をもって「仲よく」生きることを誓い、本尊阿弥陀如来、また智慧の仏さまである勢至菩薩に学業成就をお願いいたします。

今日の智慧結び法要をきっかけに、心豊かな人生を送れるように努力を重ねて参りましょう。

（導）*受者に導師の前に出てきてもらう）

灌頂洒水（*洒水器での作法です。水瓶でも構いません）

それではまず聖水灌頂を行います。阿弥陀如来様、勢至菩薩様の前で、この智慧のお水をおつむから注いで、大いなる仏の智慧を授かります。それではこれから作法をいたします。合掌をお願いします。

（順三）

おつむを下げてください。

これはこれ阿弥陀如来より給われる勢至菩薩の智慧の水なり。

弥陀心水沐身頂 南無阿弥陀仏（灌頂洒水）

（逆一）

誦経（焼香）『般若心経』など

（導）*この間、導師はお守りへの洒浄作法）

祈願

本尊阿弥陀如来、〇〇家先祖代々哀愍護念

祈願し奉る信心の願主は〇〇、祈願し奉るところ〇〇
学業成就身体健全無事成長 無諸障礙哀愍護念

普済偈

同唱十念

摂益文

念仏一会

自信偈

十念

請護念偈

無言一礼

お守り授与

（導）*導師は本尊前よりお守りを下げ、受者に渡す）

挨拶

（導）は導師の動き、（受）は受者の動きを示しています。



智慧結び

法要

短縮版



(追善法要と一緒に)

ここでは、追善法要と併修して行う次第を記載します。追善法要終了後、十五分程度でお勤めできる次第となっています。

(追善法要後に)

- 次、転座
- 次、説示
- 次、灌頂洒水
- 次、同唱十念
- 次、誓いの言葉
- 次、転座
- 次、開経偈
- 次、誦経(焼香)
- 次、祈願
- 次、普済偈
- 次、同唱十念
- 次、お守り授与
- 次、挨拶



転座

説示

○○さん、ご家族の皆さん、智慧結び法要、まことにおめでとうございます。この「智慧結び法要」は、浄土宗をお開きになった法然上人にあやかり、御仏の智慧を授かり、○○さんの輝かしい未来に向かって歩むために、明るく、正しく、仲よく生きることを誓い、本尊阿弥陀如来、また智慧の仏様である勢至菩薩に学業成就をお願ひいたします。今日の智慧結び法要をきっかけに、心豊かな人生を送れるように努力を重ねて参りましょう。

(導) *受者に導師の前に出てきてもらう)

灌頂洒水

(*ここでは洒水器を用いた作法となっています)

それではまず聖水灌頂を行います。阿弥陀如来様、勢至菩薩様の前で、この智慧のお水をおつむから注いで、大いなる仏の智慧を授かります。それではこれから作法をいたします。合掌をお願いします。

(順三)

おつむを下げてください。

これはこれ阿弥陀如来より給われる勢至菩薩の智慧の水なり。

弥陀心水沐身頂南無阿弥陀仏(灌頂洒水)

(逆一)

同唱十念

それでは、学業成就、ならびに身と心の健やかなることを願って、皆さまと一緒に十遍の南無阿弥陀仏をお称えいただき、阿弥陀如来様、勢至菩薩様にご祈願をしたいと思います。本尊阿弥陀如来勢至菩薩御威光倍增哀愍護念 同唱十念

誓いの言葉

ただ今、○○さんは仏様からの智慧の水を授かりました。それでは、○○さん、本尊阿弥陀如来様、勢至菩薩様、また今日お集まりの皆様の前で、誓いの言葉を述べてもらいます。

(導) *受者に「誓いの言葉」を渡す)

では、読み上げてください。

(受)「本日の智慧結び法要にあたり、本尊阿弥陀如来様、勢至菩薩様から智慧と慈悲を授かりました。今日の気持ちを忘れず、法然上人を仰ぎ見て、明るく、正しく、仲よく生活し、学業に励むことを誓います。○○年○月○日 ○○」

(導) *お守りと読んだ「誓いの言葉」を載せた華籠を受者が持ち、導師を先導にして内陣本尊前まで進み、

本尊前の三方の上に華籠を置く。その後、本尊前で焼香。受者は元の席に戻る)

転座

開経偈

誦経(焼香)『般若心経』など

(導) *この間、導師はお守りへの洒浄作法)

祈願

本尊阿弥陀如来、○○家先祖代々哀愍護念
祈願し奉る信心の願主は○○、祈願し奉るところ○○
学業成就身体健全無事成長無諸障礙哀愍護念

普済偈 同唱十念 お守り授与 挨拶

その他の工夫

記念写真について

近年、子どもの成長儀礼の際には、記念写真が欠かせない要素となっています。撮影者の混乱を避けるためにも、法要中の撮影機会、撮影場所を事前に指示しておくことが重要です。

洒水や記念品授与の際は①の位置が良いでしょう。家族も写るようにすると雰囲気が残ります。本尊前でお焼香する場合は②で撮ります。また、お説中などには③・④の位置から全体を撮影しておくことも重要です。

法要後に記念撮影を本堂内で行う時は、④の位置から「お導師さまと一緒に」家族だけ「受者一人」など多くの写真を撮影すると喜ばれるでしょう。

小さいお子様は、飽きやすいものです。家族に撮影者の後ろにいてもらうと笑顔も出てスムーズに進むことでしょう。

使用するカメラのストロボ・フラッシュの位置に注意して、縦で撮る時はどこに影が出るかなど、事前に一度リハールして確認するといいでしょう。また電池・バッテリーは充電を忘れずに！



← ② お焼香



① 洒水・お約束

本尊

香炉

導師座

導師

受者

家族

家族

家族

家族

③

④

外陣

内陣



法要が
終わった後での
記念写真の例

記念品

七五三や智慧結び法
要を執り行った際、記
念品を渡すことで、法
要自体がより大切な意
味を持つものとして心
に残るでしょう。

ここでは、浄土宗、
および浄土宗関連団体
が販売している、記念
品に相応しい品を紹介
します。購入希望の際
は、それぞれのホーム
ページをご参照くださ
い。

また、お寺オリジナ
ルのお守りや鉛筆セッ
トなどを作成してお渡
しすると喜ばれるで
しょう。



〈 浄土宗公式キャラクター「なむちゃん」グッズ 〉 ※価格は全て税別です。

浄土宗文化局

【TEL】03-3436-3700

【FAX】03-3436-3356(注文専用)

【H P】<https://press.jodo.or.jp/>



マスコットキーチェーン

大きさ約8cm(チェーン除く)。

370円(単品)/3,241円(10個セット)



腕輪念珠

材質:プラスチック 親玉になむちゃんのイラスト入り。

241円(単品)/2,130円(10個セット)



ボールペン

1本ずつPP袋入り。

144円(単品)/1,343円(10本セット)



クリアファイル

A4サイズ。1枚ずつPP袋入り。

120円(単品)/648円(10枚セット)



トートバッグ

材質:綿(20×30×10cm)

361円

全国浄土宗青年会

【H P】<https://zj.jodo.or.jp/>



かんたん腕輪念珠キット

200円



写仏お守りキット

300円



おわりに（浄土宗の祈願について考える）

子どもの無事成長や学業成就を「祈願」することは「現世利益」（現益）を求めることであり、念仏往生という当益を求める浄土宗の教えにそぐわないと思われるかもしれません。ご承知のとおり浄土宗を含め仏教は煩惱なき仏の世界を指向します。自らの欲望、煩惱を満足させようと「祈願」したところで、所詮、煩惱の世界における満足求めているに過ぎませんし、そこに救いはない、というのが浄土宗の立場と言えますでしょう。しかしながら、身も心も安らかな人生を送れるよう神仏に願ひ祈りを捧げることが信仰心を育む「きっかけ」「縁」となることも否定できません。

本マニュアルが無事成長や学業成就を「祈願」する法要を提唱する目的は、幼児や青少年が浄土宗寺院を訪れる「きっかけ」を創り出し、三宝帰依の精神に触れ、念仏を称え、阿弥陀仏と「縁」を結んでいただくことにあります。祈願は「きっかけ」であり、その先にあるものが目的なのです。

藤堂恭俊台下の論文（「念仏の利益―現世において受ける変・転の妙味―」『教化

研究』四号、平成四年）に、「撰取の光明の真只中に摂尽されていても、それに背を向けて、光明の波長を捉えようとする人にあることは、撰取不捨の光明も不撰取の光明という外ない」という一節があります。無事に成長しても学業が成就しても、阿弥陀仏の光明に背を向けていては何の意味もありません。念仏往生を求める者は撰取の光明に背を向けてはならないのです。念仏往生を求める視点から、無事成長や学業成就の真の目的を問うならば、それは撰取の光明に対して決して「背を向けない」人になるということでしょう。無事成長や学業成就といった現世利益を求める「祈願」法要については、そうした真の目的を踏まえて営む必要があるでしょう。



「子どもの成長儀礼 実践マニュアル」

平成30年3月31日

発行 浄土宗総合研究所
企画編集 次世代継承に関する研究班
協力 法式研究班

表紙：阿弥陀仏画 長野教区正源寺 笠井雅裕師
Hello! なむちゃん © 浄土宗／しきしげゆき 1993
写真撮影・提供：菅波 正行
デザイン：TRD Design
印刷：共立印刷社

*本マニュアル作成に関する詳細(参考文献など)は、当研究班の研究成果報告(『教化研究』29号掲載予定)をご覧ください。

ダウンロード 可能資料一覧

浄土宗総合研究所のホームページからダウンロードできます。(PDF、ワードファイル)

(<http://jsri.jodo.or.jp/>)

「子どもの成長儀礼 実践マニュアル」

七五三

 お寺で七五三
イメージ編(動画)

 お寺で七五三
解説編(動画)

 慶事の飾りの作り方
水瓶と散杖編(動画)

 慶事の飾りの作り方
洒水器編(動画)

 次第

 パンフレット 例①

 パンフレット 例②

 初参り次第

*「YouTube公式チャンネル浄土宗」でも動画をご覧いただけます



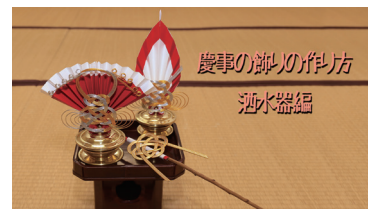
お寺で七五三
イメージ編



お寺で七五三
解説編



慶事の飾りの作り方
水瓶と散杖編



慶事の飾りの作り方
洒水器編

智慧結び法要

 智慧結び法要(動画)

 パンフレット 例

 お守りに入れる名号札

 受者による「誓いの言葉」

 次第

 智慧結び法要短縮版次第



智慧結び法要

